

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 1 3 3 号
件 名	旧會津八一記念館に関する事について
要 旨	<p>會津八一記念館が日報メディアシップに移転となったのは昨年8月。新潟日報新聞に掲載されて初めて知りました。私たちは詳しい情報を知りませんでしたので、改修工事のため一時的移転と思っていました。最近になって記念館の閉鎖を知りました。</p> <p>會津八一記念館が新潟日报社の中につくられたことは驚きです。しかしどう考えても市民の宝が半永久的に社屋に展示、保存されることは腑に落ちません。市民のものであれば市立美術館に移すこともできたのではないかと考えますが、今となってはこの声は届きません。</p> <p>さて、旧會津八一記念館はモダニズム建築で新潟市では少ない価値ある建造物です。建設には寄附金や新潟県からの補助金もあり、県民の文化に対する理解と熱い思いによって建てられたものです。それゆえ、旧記念館は平成15年11月、新潟市歴史文化施設保存活用基本計画に準じて、建造物の活用を御検討ください。</p> <p>あの周辺は歴史的建造物の区域で、一つの景観をなしています。県内外の観光客の観光スポットとなっています。砂丘館の角を曲がり松林の突き当たりに白壁が見えてくると、なぜかほっとさせる場所です。建築家の意図は自然との一体感を考えて設計されたと聞いています。これからも多くの人々が足を運んでほしいと思います。年月を経た樹木や建築物が町の景観から多く姿が消えていくことに寂しさを感じます。</p> <p style="text-align: right;">(裏面につづく)</p>
付 託 年月日 委員会	平成27年2月18日 文教経済常任委員会
受 理	平成27年2月3日 第624号

陳情第133号

また、将来新潟市を担う子供たちに歴史や文化を伝える上で、古いものを大切に残し伝えることは大人の責務と思います。

どうかそのことを考慮され、市民への公開と歴史文化の研修と発信し合う交流センターや新たな市民ギャラリー等としての利活用を慎重に検討されることをお願い申し上げます。